

平成24年

田布施町

成人式

～晴れの門出を祝って～



式典では、実行委員の三輪彬みわあきらさん、大島寛美さんおおしまひろみが司会を務め、最後に、新成人を代表して石本真基さんいしもとまさき（実行委員長）が成人を迎えるにあたっての決意を力強く発表しました。

式典後の記念行事「恩師と語ろう」では、お祝いにかけてつれた中学校当時の恩師から祝福のメッセージが贈られ、新成人たちからは感謝の言葉が返されるなど、大いに盛り上がりました。引き続き行われた茶話会では、久しぶりに再会した旧友や恩師と思い出話に花を咲かせたり、一緒に写真を撮ったりする姿が見られ、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。



○成人式の記念写真と記念品「オリジナルDVD」は、2月下旬に出席者に郵送する予定です。 社会教育課 ☎52 - 5813

新成人代表あいさつ

石本 真基さん



皆様、明けましておめでとうございませう。本日は、新年早々にもかかわらず、私たちのために、ご来賓の皆様を始め、多くの方々にご出席いただき、どうもありがとうございます。今日、私たちが育った田布施町で成人式を迎えることができ、とても感慨深いものがあります。成人式を迎えた今、中学生の頃を思い返してみると、とても未熟だったと思います。しかし、先生方に優しく、そして時には厳しく指導していただいたおかげで、ここまで成長できたのだと思います。私は、当時校長先生だった尾崎教育長さんから学んだ「切磋琢磨」という言葉が、今でも大切にしています。人間は、一人では、成長するのにも限界がありますが、人間同士、互いに磨きあうことで、際限なく成長できるということです。

私は、成長していくためには、まず、一人ひとりが様々な経験を積み重ねていくことが必要だと考えています。経験は、必ず人を成長させてくれます。良い経験は、自分を一層伸ばし、たとえ辛い経験であっても、落ち込むのではなく、その経験をバネにして、より良い方向へと変えて行くことが大切なのです。そして、自分自身の経験を周りの人に惜しみなく伝えていくことによって、お互いが成長していくのだと思います。

昨年、3月11日に東日本大震災が発生し、未曾有の被害をもたらしました。瓦礫の処理や放射能汚染など、今なお多くの課題も残っており、復興への道のりは、まだまだ、険しいものがあります。しかし、みんなで支えあい、がんばって生きている姿には、日本人の底力を感じます。私たちは、改めて、自分の人生を真剣に考え、感謝の心を忘れず、一日一歩ずつでも前に進んでいかなくてはなりません。今しかできないこと、今だからこそやらなければならないことがあると思います。私は、チャレンジ精神を大事にして、様々なことに積極的に取り組み、自分自身の人生を切り拓いていくつもりです。

最後に、今日まで式典のために協力してくださった教育委員会の方々、一緒に運営してくれた実行委員の皆さん、後輩の運営委員の皆さんに厚くお礼申し上げます。